

備前市事務事業評価表

事務事業名	飲料水供給施設管理運営事業		コード	担当課係	水道工務課 給水係
			01-01-09-04	担当者	石城戸 信也
事業実施期間			電話	0869-66-9793	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	上水道及び簡易水道			
	施策	環境対策と水の安定供給			

事業について	
目的	漏水が多く、有収率が悪いため向上させる
対象（誰のために）	鴻島居住者及び別荘を所有している水道使用者（43名）
内容	漏水の調査・修繕を実施し有収率を向上させる。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	回数など	回数など	回数など
漏水調査件数	1回			
漏水調査費	157,500円			
漏水修繕件数	11回			
漏水修繕費	393,317円			
水道利用者				

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	8,064	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	8,749	受益者負担	9,123	人件費		受益者負担	
	合計	16,813	一般財源等	7,690	合計	0	一般財源等	0

必要人員	1.00	人			
結果指標①	結果指標名	漏水調査件数			
	結果指標量	1			
	単位	回			
	対前年比	—			
結果指標②	事業費	157,500	円		
	単位当たりコスト①	157,500	円		
	結果指標名	漏水修繕件数			
	結果指標量	11			
対前年比	—				
事業費	393,317	円			
単位当たりコスト②	35,756	円			

事業の成果			
成果指標名	有収率	式又は説明	有収水量/送水量=11,649/31,280
成果指標量	17年度		
対前年比	37	0.00%	
到達目標値	75	到達目標年度	H27

(平成17年度事業)

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

旧日生町時代の不動産屋による分譲した配水管が規格品でないため漏水等発生しやすい状況であり、調査等実施せずそのままにしておくこと漏水箇所が増加し有収率の低下、更に水量不足も考えられるので妥当である。

コスト削減の努力をすると共に、漏水修繕業者との連携を図り、また定期的に職員、業者による漏水調査を実施し早期発見修繕出来るよう努める。

1件当たりの修理コスト
H16→66,000円
H17→40,000円
(今回は1件当たりのコストは安くなっているが漏水状況により一概に安い・高いは評価出来ない)

現状での漏水量は約200万円であるが、配管の更新に約9200万円必要で費用が掛かりすぎるため、現状の様に調査及び修繕を実施し漏水量を減らしたほうが経済的に有効である。

総合評価	
コメント	調査修繕を繰り返しても劇的に労水量が減る訳で無いが、新たに漏水箇所が増える可能性もあり水量不足の可能性もあるため、今後も地道に漏水調査修繕は続けていくべきである。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	45
目標値	結果指標量②
目標値	成果指標量 11.5%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	鴻島居住者に漏水情報提供を求め、早期発見・修繕に努める。	随時	漏水量が減り有収率が向上する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。